JAPAN Neko-Dasuke NETWORK
[p-1]
2022令和4年12月
Vol.55
いのちにやさしいまちづくり
Stop the NORA ねこだすけ
JAPAN Neko-Dasuke NETWORK
発行／著作
NPO ねこだすけ
〒160-0015
東京都
新宿区大京町5-15-203
http://nekodasuke.main.jp

私が最近思う事…

NPOねこだすけ 代表理事 工藤久美子
（一社）ワンウェルフェア 監事
東京都動物愛護推進員

日本の地域猫活動と野生動物と猫との共存

日本では、欧米は動物愛護先進国、日本はまだ遅れを取っている、とよく耳にして来ましたが、果たしてそうでしょうか。

私は昔から日本が一番の動物に平和な国では、と思っております。

1. 宗教、民族の違い 日本は基本、仏教徒でありほぼ単一民族とも言えます。諸外国の様々な宗教、多民族国家と異なり国内での内乱、騒乱なども極めて少ないと思います。

●宗教 仏教における動物感は「生きているものはすべて尊重し、進んでこれを殺したり傷つけてはならない。」とされています。加えて、輪廻転生の思想もあり他の生き物への尊重の思いを感じられます。

キリスト教における動物感は「世界は適者生存の原理。人間は支配者であり、他の全ての動物を利用する権利がある。」

犬畜生とは言いながら無駄な殺生を禁ずる仏教の教えと、キリスト教における人は他の動物を支配、利用する権利がある、との教えには大きな開きを感じます。

●民族 大きく分けると狩猟民族と農耕民族の違いもあります。農耕民族である日本人は動物を利用することは、農耕の為の労働が主。共に働き、生活していく、その歴史を感じます。

狩猟民族は当然、狩猟を行い他の動物を殺すこと、これもまた生活の歴史であったでしょう。

以上、2点が諸外国と日本における動物感の大きな違いの元と感じます。

2. 島国、村社会 さらに細かく見ていきますと、日本独自のものが浮かび上がってきます。

●地域密着社会 東京都のような都会でも地域での人と人との繋がりはとても強いと言えます。長く地元に住んでいる方も多く、また日本独自の町会と言う最小単位の自治組織もある。

知人のオーストラリア人の言葉は、目から鱗でした。
なぜ日本ではボランティア活動が盛んでは無いのか?
この問いに彼女の答えは、「日本には町会組織がある。これが正に地域でのボランティア活動であり、特別のボランティアは必要無い。」 この組織を通して、住民同士のコミュニケーションも図られ地域でのトラブルを少なくし連帯感を持って地域をより良くしていこうと言う意識も生まれるのでは、と感じております。

地域猫活動とは、正に町会自治会、地域の方々と進めていく、殺生を禁ずる宗教の教えのもと、また地域の人間関係を重んじる人々の歴史のもと、地域の環境、人間関係を重んじる人々の歴史のもと、地域の環境、人間関係を改善し命を無駄にせず静かな社会を得ることができます。

3. シェルター・保護施設について これはおよそ8年ほど前のデータですが、イギリス、アメリカ、ドイツでも不景気により動物のシェルターへの引き取り依頼の増加、また寄付の減少により多くのシェルターが経営難に陥りました。また過剰な保護動物収容の為、健康な犬猫の安楽死も増えてきていました。

●それを解消するために、アメリカでは民間団体とのパートナーシップ、シェルターの民間団体への委託運営、ドイツでも国内に500ヵ所以上あるティアハイム支援の為、犬税なども含み行政助成金の拡大が行われています。イギリスも同様な状況です。

●ノンキルシェルター アメリカには引き取った動物を殺さない、ノンキルシェルターと引き取り動物が過剰になれば健康な動物でも殺すキルシェルターの2種類があります。

この問題点は、ノンキルシェルターは過剰とならないよう、引き取りを拒否する。しかしながら代わりにキルシェルターを紹介する、これによりキルシェルターはさらに殺処分数が増え、その現状をノンキルシェルターが非難し、自分達の施設への寄付金増加の材料としている。

自分で紹介していながら酷い話ですが、これもまた世界共通の現状では、と感じております。

シェルター運営は、このように寄付金の豊富なイギリス、アメリカ、ドイツでも状況により経営困難に容易に陥ることがわかります。

日本でも特に東北大震災以降、シェルターが増えていますが、法人シェルターは上記しましたように不景気、寄付金減少、持込数増加などにより危機を迎えるリスク。

個人シェルターは、近年日本でも大きな問題になりつつある多頭崩壊のリスクがあり、根本的な解決策とは思えません。

4. TNRについて ・ 海外の場合 野良猫を捕獲し手術を行い、元の場所に戻す、このTNRについてはイギリス、アメリカ共、とても盛んに行われています。

しかしながら、絶対的指示を受けているのではなく海外では、この方法を疑問視する見方もあります。

●手術の効果（海外の場合） 一つの場所で全ての猫の51%以上の手術が行われないと、効果が見えない。（※これについてはほぼ100%の手術を行えば良いだけ、それは可能です。）

●外からの侵入猫、捨て猫（海外の場合） 一時的に手術の効果が出ても、新たな猫、捨て猫によりその効果

2頁へ続く…

が薄れる可能性がある。（※これは地域の監視の目、猫の数の把握、遺棄防止策で防げます。）

●放し飼いの猫（海外の場合）　これが野生動物への脅威となるため、捕獲手術よりも捕獲処分が適当。（これは放し飼いの猫が原因、とのことであれば、室内飼の推進、適正飼育で防げます。）

以上の3つがTNRを疑問視する、海外の理由として挙げられています。

5. 野生動物と猫との共存　ドイツの連邦狩猟法では、狩猟、野生動物保護の為、飼い犬、飼い猫を問わず射殺することが認められています。飼われている家から何メートル範囲内、と決められそれを越えた範囲の猫は殺しても構わない、凄い法律です。

これには愛護団体が法改正を求めている様ですが、狩猟民族ならではの発想ではと感じました。

狩猟の為の自然環境、野生動物の保護保全、最近では自然環境への破壊が問題とされていますがこれもまた、この自然環境保護という錦の御旗に拍車をかけ奄美のノネコ捕獲問題と同様、猫が大変に割りを食っている、と思えます。

工藤の個人的結論: 日本の地域性にピタリと当てはまる地域猫活動。

これにメインを置き、保護が必要な猫を減らして行く事。欧米のシェルターから見えてくるものは、シェルターはいつ危機的状況に陥るか予測できない、と言う事でしょう。

シェルターが必要のない社会となりますこと。ノネコ問題も、飼い猫野良猫を問わず、野生動物保護の為、猫を捕獲、処分する、この様な考え方、施策は私達日本人には決して馴染む方法ではありません。

以上、地域猫活動の更なる推進、野生動物と猫と人との共存。この2点を心から願っております。

参考文献／国立国会図書館　調査及び立法考査局農林環境課
諸外国における犬猫殺処分をめぐる状況　2014年　第830号

コロナ禍のため多数のセミナー計画が延期や中止になりました。令和5年にねこだすけがお手伝いさせていただくセミナーの予定は、1月28日ところざわ市、2月11日東久留米市、2月18日国分寺市などです。（令和4年12月下旬現在）

ご近所での地域猫活動やTNR、猫の保護

港区赤坂を中心に、三密を避けた近隣地域の外猫見守り活動です。

赤坂、六本木、青山で活動をされ、大変お世話になっているボランティアさんに、一言メッセージをお願いしました。

●青山、T様。　猫活動　やればやるほど　貧乏暇なし

●六本木クラブオーナーママ。　周辺の猫ちゃんは、皆餌も沢山頂いてるので、幸せそうです。不妊手術も皆済ませてるので安心です。優しい人が多いので、この地区は猫達にとって優しい街だと思います。

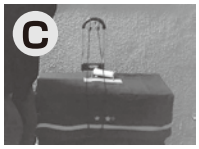
●青山、K様。　猫が可哀想だからとご飯をあげて下さる方はたくさんいらっしゃいますが、不妊手術を施さないことにより可哀想な猫が増えてしまうこと、それを防ぐには何が出来るかまで気付いて頂けると非常に嬉しいです。

●赤坂、E様。　2年ほど前まで朝の時間帯に港区で猫の餌やりをしていました。引っ越ししたためもうやっていませんが、通勤者の方が後を引き継いでくださり、犬のお散歩の方が、その後の様子を教えてくださるなど、とてもありがたい日々が、今も続いています。多くの方が地域猫や猫の餌やりに理解ある貴重な地域と感じています。

●赤坂R様。　地元ですので、皆様とも顔見知り。町会での活動説明会も開催できました。地域住民であること、普段からのお付き合いが活動を進める上でとても大切と思います。

●青山A様。　自宅周辺地域で去勢されていない猫がいないか注意して見ていこうと思いました。捕獲に参加させていただきましたが、いつ入るかわからない猫をひたすら待つことの大変さを感じました。

●赤坂、O様。　赤坂に越して来た10年前は、生活域のあちらこちらで子猫が生まれいて大変な状況でした。私自身も含め、地域の方々の地域猫に対する理解が殆どなく、そのような中でのTNR活動は沢山の困難がありました。しかし、地域のボランティアの皆様のお力添えのおかげで、ここ1～2年は子猫を見かけていません。地域猫活動には地域の方々の理解と協力、そして連携が大事と痛感しております。



①青山捕獲、今年7月21日。昨年11月開始の現場。1匹捕獲成功。

②青山、今年9月捕獲開始。母と娘。ママも子猫も9月に捕獲、ママはリターン。子猫は餌やり様宅の子になりました。捕獲前の仲良し写真。

③家の子、杏。今年3月に保護しましたが上は保護前です。全盲なのに必死で餌場に来ていました。下は捕獲後ちゃま坊先生の病院へ。

④今年10月。青山墓地近くで捕獲開始。ボランティアさんが運搬や捕獲など活動にご参加。

⑤今年9月。麻布、置いてけぼり猫リサーチ。飼い猫か地域猫が不明ですが、餌やり様が保護を諦め残されました。今も餌やり様が3名いらして、猫は平和にしていますのでこのまま地域猫に。

⑥今年12月。新宿、外の子2匹を室内飼いにするために捕獲しました。

⑦トラップ2台の現場です。A·B·Cの写真は場所も日にちも違いますが、それぞれにボランティアさん一人づつ、3名に活動参加していただきました。

地域猫対策の現場リサーチ・打ち合わせ会など

1月29日麻布支所職員様と麻布地区現場リサーチ。

三者協働地域猫対策を行うために、地域を所管する役所の職員と共に活動できる機会を持つように努めています。

港区は、飼い主のいる愛護動物の猫の所管が保健所で、地域密着の外猫、地域猫対策は区内五カ所の支所協働推進課です。

ここの職員の皆さまは自転車で地域を巡りながら、きめ細かな地域コミュニティの情報をお持ちです。

もちろん、人と外の猫との関係づくりにも、その思いを強く感じられます。

ねこだすけ代表工藤のフェイスブック活動日記（右のQRコード）の一部より。

7月21日
赤坂支所職員様と青山リサーチ。

5月19日
港区動物愛護推進員会議。
港区保健所で、保健所、協働推進課職員様と推進員。

10月27日
港推進員打ち合わせ。
4頁のみなと区民まつり今年の報告や来年に向けて。

4月25日。
大田区町会館で地域猫活動説明会。
大田区保健所職員様がパネル、資料持参で説明にご参加くださいました。

セミナーほか、行事や出来事の一部

詳しくはねこだすけブログ「地域猫・地域ねこ・ちいきねこ」
http://chiikineko.nekodasuke.main.jp/ ブログQRコード

コロナ禍のため、地域猫セミナーの中止が続きましたが、オンラインや席の間隔を空ける等で行なわれました。

高知セミナー会場、ねこだすけ工藤の講演。

第7回・高知地域猫セミナー、11月3日高知市総合あんしんセンターで、同市動物愛護担当が主催。講演は高知地域猫の会代表澤田佳子さんと、NPOねこだすけ代表理事工藤久美子ほか。同センターは、保健所のほか健康と福祉などのさまざまな機関の大規模施設で、３階大会議場のソーシャルディスタンスに配慮した会場はほぼ満席。

同市の担当から、地域猫施策やその活動の的確な説明がありました。ねこだすけがお手伝いさせていただく、多くのセミナーとの違いは、会場の地域猫対策解説パネルや外猫トイレ展示セットなどのほかが、私たちが会場入りした際には出来上がっていたことです。通常は数日前にパネルなどを宅配し、当日の開会前に準備をすることが多いです。

高知地域猫の会代表澤田さんは講師のほか、設営展示物の製作などもされていました。閉会後の集合写真には地域猫対策三者協働の、市民・役人・ボランティアが勢揃い。画像左下・左上は開会前に職員さん、講師と

世田谷区地域猫活動セミナーONLINE

11月26日、同区庁舎会議室に休日出勤の職員と講演者以外に、一般参加はねこだすけきやだけでした。Zoomの機器が設営された会議室に、模擬地域猫トイレ実演のための設営が役割です。

国内各地の地域猫関連セミナーへの参加体験や、情報を耳にしても役所の職員と機材だけでZoom会議を完結したのは国内初と思われます。

右上はZoom設定中の職員↑。 **記事は4頁へ続く…**

テレワークでオンラインの田矢さん。

右3名は職員、左へ町会長さん、ねこだすけ。

先日の静岡県動物保護協会は厳密には外郭団体。

現場に同席の課長係長以下はITに不慣れながらも司令塔で、実行はお若いお二人のご担当と思われ、終わってみるとブラボー！お疲れ様でした。

地域猫対策実行の町会長さん、地域が主な拠点のチームSLP主宰田矢さん、ねこだすけ代表工藤のそれぞれのメの言葉は、揃って同じ内容の役所への一言。20年にも及び役所、住民、ボランティア協働で地域猫対策を行い、先進的なセミナーを続けながら、最後に役所へ三者から同じ内容のお願いです。それは5頁の同祖師谷セミナーと同じ内容で、二十年近くも前の地域猫対策の不妊去勢手術費助成金制定時から続く、事業者組織の既得権益についてのしこりのようでした。

横浜市・地域猫活動勉強会、ねこだすけ工藤講演中。

地域猫活動勉強会10月24日、横浜市動物愛護センター研修室で開催。主催は同センターの協力のもと横浜市動物適正飼育推進員の金子さん。講演は地域猫対策のボランティアリーダー金子さんなどのほか、NPOねこだすけ代表理事工藤。

動物愛護法では各自治体などで任命する「動物愛護推進員」とされていますが、同市では当初から「動物適正飼育推進員」の名称とのことでした。ご参加者さん40名中の約10名は同推進員で、他は飼い主のいない猫のTNRや地域猫活動の皆さまが多数でした。地域猫対策は飼い主のいない猫が対象ですし、動物の適正飼育は飼い主の責務と思われ、動物適正飼育推進員の皆さまが活動している「飼い主のいない猫対策」との整合性には少しの疑問も思われました。（き）

横浜市・地域猫活動勉強会、有志集合。

第41回みなと区民まつり、10月8～9日都立芝公園エリアで港区東京都動物愛護推進員のブースに、みなと保健所が地域猫対策などを展示。クイズに応えてお土産などもあります。

会場入り口でコロナ禍検温済の腕章を付けて訪れる大勢の皆様に、同区の動物愛護推進員や担当職員、ねこだすけ工藤ほかが対面でお声掛けをし、クイズや地域猫活動などの解説を担当しました。

港区役所前の増上寺や都と区の公園などの広大な敷地に、多分100を超えるブースや多彩なステージ、飲み食い販売や展示など盛りだくさんです。写真は区職員や動物愛護推進員、近くのブースの方と。

静岡県・地域猫活動の進め方セミナー、10月5日、静岡県獣医畜産会館5階会議室から、オンライン・ZOOMにより開催。

当日早くから同県動物保護協会が会場設営や、パソコンの設定に携わり、講演のねこだすけ工藤なども地域猫模擬トイレを設営。

講演中は着席ですが、トイレの解説はカメラの移動があり、主催者のご苦労が伝わりました。

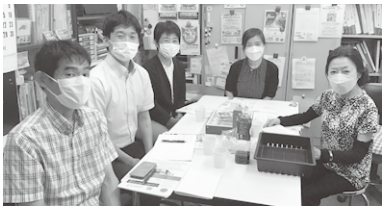
視聴対象がボランティアと市町職員などで、同県内から複数の行政職員がパソコンの前に集まっていました。また、広島や長崎の動物ボランティアさんも参加されました。県の地域猫施策が、町会組織などを所管する市町との協働の広がりを思いました。

ねこだすけ工藤が講演中、上は静岡県↑、下は沼津市↓。

沼津市動物愛護講演会、9月23日サンウェルぬまづ大会議室は、コロナ禍で間隔をとった入場制限会場が40名ほどで満席。

杖をつき、手を取り合うご高齢男性2名が会場オープンと同時に最前列に着席。閉会後の立ち話で「地域猫活動を初めて知った。猫の保護グループは地元新聞で分るが、地域猫活動者は知らない。」などやご自宅の同居猫が話題でした。主催の市職員が早くから会場を設営し、運営にあたりました。また、近隣市職員などがプライベートの立場で聴講されてました。

運営のスタッフやご参加者さんも…



トピックス7月6日静岡県各地の動物愛護管理担当職員が視察を兼ねて、ねこだすけ事務所に来訪(右)。港区高輪支所で地域猫ボランティア懇親会に参加(左)。その後同区内の、外猫・出入り自由猫不適切飼育の現場などをご案内しました。

世田谷地域猫活動in祖師谷、7月16日祖師谷まちづくりセンターで世田谷保健所が主催。講師：田矢麻弓さん・チームSLP代表／長島日出男氏・世田谷区内自治会長／工藤久美子・NPOねこだすけ代表。

ここでの気がかりも、下の市原市と同じで区の手術費助成金を使えるのは、獣医師会加盟の約50軒だけ。区内に動物病院が100軒を超えるとのことです。噂では「これは区の民業圧迫と、一部事業者への便宜供与」の声も聞かれます。市原市との違いは、独禁法に引っかかりそうな協定価格こそ無さそうでした。

地域猫対策の現場では、同区の手術費助成金がなくても、動物病院独自の裁量で手術や治療を、区民の負担を少なくする方法で続けているとのことで、長期間多頭数の手術に同区の助成金を利用しないボランティアリーダーも居りました。

チームSLPが講師の地域猫セミナーは34回め。年に2度開催ですから四捨五入で20年!!。下の画像右は、広い体育館内でソーシャルディスタンスを目指し、備品のテーブルを全部使い切った現状復帰片づけ作業後に自治会、区民、役人、ボランティアなどの有志集合。

ねこだすけ工藤、講演中。

7月９日、いちはら地域ネコの会「創立10周年記念」セミナー《猫トラブル“ゼロ”と飼い主のいない猫“ゼロ”社会の実現へ》ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはらで開催。

講師：清水真由美氏（NPOふなばし地域ねこ活動代表理事）工藤久美子（NPOねこだすけ代表理事）併催：ノラネコなんでも相談会／地域ネコパネル展。現状復帰片づけ作業の合間に自治会、区民、役人、ボランティアなどの有志集合。左下の画像

一つ気がかりだったのは、市が助成する不妊去勢手術費の仕組みについてです。獣医療は自由診療と聞いてましたが、ここでは市からの助成金が使えるおよそ十軒ほどの動物病院事業者に、協定価格が設定されているとのこと。市が決めたのか事業者が決めたのか分りませんが、独禁法に引っかかります。

ボランティアさんが、協定価格よりも廉価か手術費持ち出しの無い民間組織を市が使うことを求める署名活動を行っていました。

ねこだすけ工藤の講演↑　スタッフ集合↓

瑞穂町地域猫講演会3月27日、郷土資料館けやき館で開催。主催：瑞穂町、協力：NPO法人犬猫友愛会。地元NPOと役所の協働の努力もコロナ禍で数年は実らず、やっと開催に至ったとのことでした。

直接お目に掛かりながらの情報授受は、オンラインなどと少し異なる活き活きさを感じました。

ねこだすけ工藤の講演は、猫トイレ実演や質疑応答を含めて充分の時間をいただきました。

工藤が外猫トイレ実演中

数年に及び開催を進めていたNPOやボランティアさん、休日出勤の役人さんたちと、現状復帰作業後の恒例集合写真（右）です。

東久留米市飼い主のいない猫セミナー、2月20日、ねこだすけ工藤ほかの講演計画はコロナ禍のため中止になりました。
令和5年2月11日に講師や内容はそのままで開催の予定です。

オンラインZoomミーティングコロナ禍対策が続き、ねこだすけでもZoomを年間契約して、月々のオンラインミーティングや、個別お打ち合わせのほか、忘年会なども行いました。

現在は有料のZoomを取り止め、LINEなどのSNSやメールなどでコミュニケーションをはかっています。

所沢市YouTubeセミナーは令和4年2月12日、コロナ禍のため会場無観客で収録し同3月までYouTube公開になりました。講師は所沢ねこのネットワーク代表斉藤さん、地域猫チームSLP代表田矢さん、ねこだすけ代表工藤ほか。

工藤の講演をYouTube用に収録

所沢ねこのネットワークの皆さま、同市職員と講師などと

令和3年12月21日、当会報7頁のHARO小倉理事長に、ねこだすけ代表工藤が同行させていただき、8月に環境省動物愛護管理室に赴任された野村室長に面会してご挨拶いたしました。地域猫対策の他、多頭飼育や多機関連携など長い時間、色々なお話しをさせていただきました。

人と動物の幸せの為に

一般社団法人ワンウェルフェアに、ねこだすけから監事と理事の2名が参加しています。

ワンウェルフェアは2016年、「動物の問題は人の問題もある」などの情報提供より、人の福祉関連多機関と、動物愛護職などとの情報交換を始めました。2019年に任意団体として活動をスタートし、2021年2月22日、一般社団法人を設立しました。「ワンウェルフェア」は「人と動物の幸せはつながっている」を表しています。

また、隔月交互に会員定例会と役員会をオンラインのZoomを利用して行なっており、ねこだすけからも参加しています。

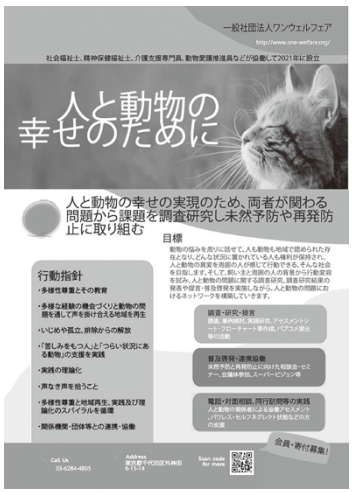
ワンウェルフェア
ホームページ

発足当初より、ワンウェルフェアはコロナ禍の影響を避ける為にオンラインを利用した会議に努めています。

ねこだすけからも監事と理事の他、参加の許される際には多数の関係各位様が集います。

右のチラシ画像は毎月第一月曜日に行っている「動物問題LINE相談」の案内などです。

本来の目的は、動物の不適切な飼育になる前に、福祉職の多機関が得られる情報と連携して、前もって防ごうと言うものですが、今は未だ「既に起ってしまっている」情報などが届きます。



令和4年10月1日、中野サンプラザを会場に、「人と環境・動物問題の現状と展望」の大会を（一社）ワンウェルフェアが主催しました。講演は環境省動物愛護管理室野村室長、厚労省地域共生社会推進室道念様。シンポジウムには、ねこだすけ代表工藤も加わり、ほかに同一社理事の・地域包括センター・介護支援専門員・社会福祉協議会関係者などです。

10.1大会が終わってスタッフ集合

翌10月2日は、オンラインのZOOMで分科会を開催、国内各地からの対策事例発表や意見交換が行われました。

大会に先立ち、8月23日、東京新聞支局にワンウェルフェアや、福祉と動物の多機関連携などに関する取材のため、当一社代表ほか理事監事が訪問しました。

8月23日東京新聞支局長さん、左から2人目と左隣にねこだすけ工藤。

左下は9月14日発行の新聞記事切り抜きです。

「多機関」を役所言葉とするなら「異分野」も分り易いと思います。

21 地域の情報 しとみ 2022年（令和4年）9月14日（水曜日）

多頭飼育解決へ異分野連携を

福祉と動物愛護の専門家

来月1日、中野で大会・学会

多頭飼育崩壊問題や、不適切な動物飼育を防ぐために、多機関連携の情報交換や情報共有はスタートラインと思うのですが、それについて、他分野からのご理解は容易ではありません。

9.16足立区保健所職員と社協職員…

未だ続くコロナ禍ですが、出来るところから足を運び、意見を交わし合う事で、ご理解への足がかりも出来つつあり、ねこだすけ工藤もできるかぎり同行させていただいております。

9.22板橋区保健所職員と社協職員…

9月に、足立区で社協と保健所の方々と、板橋区でも同様のお打ち合わせを行いました。

令和4年12月9日、昨年11月の第1回人・動物・地域に向き合う勉強会」に続き、今年も「ペット飼育問題と福祉」がテーマの第2回勉強会を、動物愛護職のほか、地域福祉や区民支援などの担当者を対象に、また他市区にも呼びかけて、みなと保健所が同区立伝統文化交流館で開催しました。

（一社）ワンウェルフェア代表理事渡辺和弘氏（社会福祉士・他にNPO代表や公益社団法人委員長などを兼務）が人の福祉の立場から、ねこだすけ代表で同一社監事の工藤久美子が動物愛護活動について講演しました。

渡辺理事長の進行で、不適切な動物飼育を想定したワークショップを、動物と福祉各職5グループに分かれて行い、交流を深めました。

令和4年5月と11月、（一社）ヒューマン&アニマル・ライツ機構HAROの名誉総裁でロビイスト猫のジャンヌちゃんに、ねこだすけ工藤がお供させていただきました。

同機構会長で元チリ大使の小川元氏（元国会議員）の地元長野県内の、諏訪市金子ゆかり市長、岡谷市今井龍五市長、飯田市佐藤健市長にご挨拶をさせていただきました。同機構小倉理事長からお誘いを受け、動物愛護や地域猫活動についてのお話し合いが進みました。

諏訪市金子ゆかり市長

岡谷市今井龍五市長

飯田市佐藤健市長

地元テレビ局の取材を受けました。

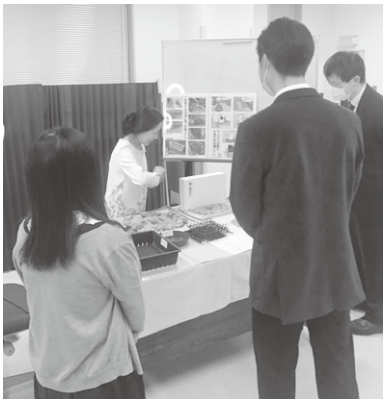
YouTube収録中

令和3年度板橋区地域猫セミナー、オンライン開催。板橋区公式YouTubeチャンネルで、令和5年3月まで視聴できます。

地域猫対策ご担当三人の職員は、会議室を収録用に準備し、私物の機材などを整えての録画です。

出演はねこだすけ代表工藤。地域猫活動の目的、内容、始め方、ポイントなどのほか、外猫用模擬トイレを持ち込み、簡単な地域猫トイレの作り方を実演しました。

担当の女性職員は「行政の地域猫対策」をパワーポイントで解説し、ナレーションも好感度大です。



今、出来ることを、出来る範囲で、決して無理をしないで!!

ご支援ご協力・ボランティア参加をどうぞよろしくお願いいたします。

地域猫活動と対策や、人と動物との適切な関係づくりの広がりを願っています。

ペットブームといわれる中で、何が適切でどうすれば不適切なことがらを改められるのか?疑問の残るアクシデントも多いです。

さまざまな出来事に合うとき、改善要請活動も頻繁です。どうぞ支えてください。

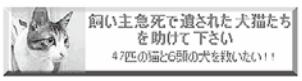
ねこだすけでは収益事業を行っていません。皆さまのご支援とボランティアさんに頼っています。

- 猫に手をのべるときフードは欠かせません。地域猫対策の他、多数頭の保護先で使用します。
- トイレ砂や獣医薬品なども助かります。
- 倉庫が手狭のため、ご支援の品々はその都度転送しています。未使用の切手は宅配の郵パックに使えますし、書き損じはがきを切手に交換します。
- 各種金券・図書などのカード類・商品券・ギフト券、収入印紙も換金が容易です。
- 皆さまへのお知らせやイベントなどの通信連絡、配送等に役立つ事務用品の、例えばコピー用紙、プリント用紙、オフィスのり、ビニールひも、粘着テープなどの消耗品は少量でも有り難いです。どうぞよろしくお願いいたします。

やむを得ない事情から、猫や犬を多頭数保護養育しています。

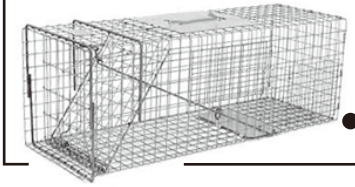
保護先に向けたフードなどのご支援をお願いいたします。犬用を含みます。8頁のねこだすけ迄ご支援物資を送付してください。随時現場に転送します。お問い合わせいただきますと直接の送付先をお知らせいたします。

http://ameblo.jp/for-animals/



トラップケージ　動物保護目的の地域猫対策に限る、直輸入捕獲用ケージ

- 動物愛護に理解の有るAPLに協力を依頼し、ねこだすけ宛に規定の書式で申し込まれた方に限り、APLから直接購入いただける仕組みをとっています。
- APLではねこだすけに申し込みのない直接販売を行いません。貸し出し用トラップなどをAPLがねこだすけに提供しています。特別な場合を除き、ねこだすけからの直接販売も行いません。
- お申込みの規定書式をご請求ください。2～3枚のご案内用紙をお届けしております。（HP検索→キャッツプロテクションケージ）
- 古い申込用紙を現在使用しておりませんので、お手数ですが最新の用紙をご請求ください。
- 直輸入のため、ケージ整備調整などのメンテナンスをねこだすけが受け持っております。万が一作動不良などの際には、出庫時同封の書式をご利用の上ご連絡ください。



- 専用のキャリーケースあります。
- 価格はねこだすけにお問い合せ下さい。
- サイズ／約25x25x66cm約2.6kg
  ペダル(踏み板)式片側扉一種類のみ

トラップケージの貸し出し…

地域猫対策や動物愛護に限るトラップケージ保護捕獲用かご（左の写真）

- 貸出無料ですが、宅配送料をご負担ください。
- 貸出期間は、一回につき原則1ヶ月です。規定の貸出申し込み書式がありますので、お問い合わせください。
- 期間を超えている際には、一度返却してください。点検整備を行います。
- また、事情により1ヶ月を超える際にはお手数ですがご連絡ください。延長も承ります。
- よそへの「又貸し」をしないでください。その都度返却し、規定の書式でお申し込みください。使う態様により危険な狩猟具にもなります。

JAPAN Neko-Dasuke NETWORK
2022 令和4年12月 vol.55

いのちにやさしいまちづくりを目指す活動に賛同していただける皆さま、ぜひ会員になって支えてください。

いのちにやさしいまちづくり
人と動物と、すてきな関係…

ねこだすけへのお誘い

資料を郵送します。ご住所をお知らせください。

ねこだすけは、小さないのちにやさしいまちづくりを目指します。1年間に数万匹もの猫が不幸に死にます。少しの手助けで不幸な猫をなくせます。

ボランティアさんがそれぞれの立場で、猫や動物に今できることをできる範囲で行い、次の世代につながることを願っています。

いつでも、どこでも、猫や動物に心を動かされている皆さまにご参加をいただいています。

猫の保護や救済、通院などのご相談にお応えし、人と動物との適切な関係づくりを広げます。社会のさまざまな分野に働きかけ、協力を促します。

猫を快く思われない方とも、また行政などと一緒に協働し、同じ目的の地域猫活動と対策を進めます。

地域猫活動や動物愛護の活動は、政治や思想に中立で営利を求めません。超党派の議員、大勢の獣医師、多くの役人から賛同をいただいています。

ねこだすけは、猫や動物を思うボランティアのチームワークで運営され、地域猫活動や動物の情報ネットワークを進めます。動物を愛する様々な立場の皆さまに支えられています。

小さな声を大きく強く!!　地域猫ネットワーク!!

ご支援、ご賛同をいただきますと…

ねこだすけニュースをお届けし、動物の擁護や福祉の普及啓発広報事業などをお知らせします。

入会お申込・お問い合せは…

電話・Fax. 03-3350-6440
郵送・宅配 〒160-0015 東京都新宿区大京町5-15-203
NPO ねこだすけ
http://nekodasuke.main.jp
facebook.com / nekodasuke
twitter.com/ki_ya

●このニュースが不適切に届けられた際にはご容赦ください。

会員種別	年会費	摘　要
A　ジュニアパートナー	1,000円	高校生以下
B　パートナー 3	3,000円	個　人
C　パートナー 5	5,000円	個　人
D　パートナー 7	7,000円	個　人
E　サポーター	10,000円以上	個　人
F　スポンサー	5,000円以上	法人・団体・企業
G　ご 寄 付		年会費を除く随時

※NPO制度の構成員(例：会社などの社員に当たる)を正会員といい、A～Fはいづれも賛助会員です。種別は会費のご負担額をお選びいただけることを目的にしており、次年度より変更できます。

●アクション会員やサポーター会員、パトロン制度などの区別はありません。特別の場合を除き活動への参加は任意で自由です。

※地域猫対策の活動が拡がっています。
どうぞご寄付をお願いいたします。

郵便振替	口座番号　00130 - 9 - 362975 加入者名　ねこだすけ

振替用紙通信覧に下記点線内の必要事項をご記入ください。

お申し込み年月日：　お名前：　ご住所／郵便番号：　お電話番号：
Fax番号：　会員種別：　年会費：　　円　　※寄付金：　　円
※ご寄付のある場合やご寄付のみの際にはご記入をお願いいたします。

※他の金融機関からお振り込みの場合は…

銀行名	ゆうちょ銀行	店名	○一九店
金融機関コード	9900	(カナ)	ゼ ロイチキュウ店
店番	019	口座番号	0362975
預金種目	当座	カナ氏名(受取人名)	ネコダ スケ

銀行名	みずほ銀行	支店名	四谷支店　支店コード　036
金融機関コード	0001	口座番号	2156468
預金種目	普通	口座名義	トクヒ)ネコダ スケ

●会員年度などが不明の際にはお問い合わせください。●金融機関やATMをご利用の際にはご本人とお振込名の相違などで確認が困難な場合もあります。お手数ですがFaxなどでのご連絡をお願いいたします。

●ご不要になった未使用の切手・書き損じハガキは郵パックや資料送付に転用します。各種金券やカード類・ギフトカード・収入印紙等は換金も容易です。保管場所が狭く、ケージや物資などの宅配出庫回数が増えました。配送費用にご支援をお願いいたします。

電話はほぼFax.です。スタッフシフトが不定期のため、ご相談日を除きお手数ですが、お名前・〒ご住所・お電話番号・なるべくFax.番号・お問い合わせ内容を手短にご記入の上ファクシミリ送信か郵送をお願いいたします。折り返しのご連絡には時間のかかる場合もありますが悪しからずご容赦ください。また、インターネットメールでのご相談受付シフトは整っておりませんのでご了承ください。

活動　地域猫活動と対策や、猫の保護救済以外の活動内容

- ●動物愛護の普及や啓発
- ●動物の法規法令等の普及啓発と実行の推進
- ●全国の愛護動物行政に対する適切な執行のお願い
- ●不適切な行政措置や慣行による違法措置などの改廃
- ●緊急災害時、動物救済要綱などの制定推進
- ●不適切に飼養される動物の改善
- ●不適切な愛玩動物煽動風潮の抑止
- ●生物多様性に関する動物の保全
- ●動物擁護の普及
- ●動物福祉の推進
- ●動物愛護普及啓発イベントの開催
- ●動物ネットワークの推進
- ●学習会や相談会、セミナー開催
- ●猫の譲渡・飼い方相談
- ●チームや支部などの支援　ほか

平成25年の改正動物愛護法から、法律文中の「ねこ」が漢字の「猫」に変わりました。ねこだすけではこだわらずに、猫、ねこ、ネコを併用しています。

地域猫対策の展示パネル

書式はホームページ>アーカイブ

発砲スチロール板に加工した、手作りの地域猫対策パネルを貸し出しています。所定の申し込み書式をご利用ください。パネルの一部などはwebのアーカイブ頁に紹介しています。

●展示会場やイベント内容をご連絡いただきますと、種類や点数を選別いたします。最大A2判、多くはB3です。●貸し出し費用は無料ですが、送料を貸出時、返却時共のご負担をお願いいたします。●地域猫対策の直接的な普及啓発の使用に限らせていただきます。●募金活動やフリーマーケット、譲渡会などが目的の場合はパネル内容とそぐわない場合がありますので、ご利用をお控えいただいております。

ホームページからプリントできます。

ねこだすけニュースバックナンバー　　ファクトシートの一部
動物愛護法・地域猫対策ポスターチラシ　　行政資料の一部　ほか

ねこだすけ　アーカイブ　検索

●地域猫対策ご参考資料としてご活用ください。●大量コピーや印刷などでご利用の際にはご連絡ください。●現在、ファクトシートの頒布を行っていませんが、ダウンロードは従来通りです。

ねこだすけニュースバックナンバー・会員の皆さま号・号外をホームページからプリントできます。　ねこだすけ　検索